



令和6年度 学校だより

つなぐ

翠輝学園 つくば市立
みどりの南小学校
第14号
発行日 R6. 7. 10

実感を伴った歴史の学び 6年社会科 出前授業



7月3日(水)3・4校時、茨城県埋蔵文化財センター「いせきぴあ茨城」(城里町)から3名の方をお招きし、社会科の出前授業が行われました。授業は、室内での「ヒトと火の歴史」と題した縄文・弥生時代の歴史についての講義と、屋外での火起こしの体験の二部制で行われました。

講義では、ヒトが火をどのように利用し、扱うことができるようになったかについて、スライドで分かりやすく説明いただきました。そして、一人一人の児童が2000年から5000年前の、本物の縄文土器・弥生土器を手に持たせてもらいました。「落としたら大変!」と緊張気味でしたが、弥生土器にも縄の模様があることや、すすが付いていることから鍋のように使われたことに気付いた児童もいました。

体験では、「まいぎり」式の火起こし器を使い、火起こしにチャレンジ。グループごとに、火起こし器の取っ手を押し下げながら回転させると、程なく煙が出ますが、なかなか火はつきません。火種を上手に麻で包んで発火させるのに一苦労。火がついたグループは大喜びでした。

子供たちは最後の感想で「火に興味が湧いた。」「今ではできないことを体験させていただいて、今の生活が便利だということが改めて分かった。」等の発表をしていました。今回、本物の土器を持ったり、火を起こしたりした体験は、これまでに学習した教科書での学びと結びつき、実感を伴った貴重な学びとなりました。遠方より来校してくださった県教育庁文化課の皆様に感謝申し上げます。



みなみトピックス

これまでの話題から

【「星に願いを…」短冊に願い事を書きました】

7月7日(土)は七夕でしたが、Sルームの前に七夕飾りが設置され、近くの5年生や2年生の子供たちが願い事を書きにきてくれました。七夕に願い事をする理由は、織姫様(こと座のベガという星)が「裁縫仕事の星」と呼ばれていたことから、昔の中国では、この星にあやかり、はた織りや裁縫が上達するようにと祈りを捧げる行事があったとのことで、これが日本へ伝わり、現在の七夕に願い事をするという風習になったそうです。子供たちの願い事の中には、自分のことだけでなく、学校や世界がよりよいものになることを願うものもありました。みんなの思いや願いが叶うことをお祈りします。



みなみ 掲示板

【登校当日(8時過ぎ)の緊急連絡フォームの利用について<確認>】

7月2日(火)のスクリレでご連絡させていただきましたが、ご利用ありがとうございます。これは、8時以降の電話連絡が多く、対応が難しい場面もあったため、スムーズな対応に向けて、「8時以降の電話連絡」を「緊急連絡フォーム」へ変更するという試みです。しばらく、この方法で運用を進め、状況に応じて改善してまいりたいと思います。(なお、8時までは、これからも「LEBER(リーバー)」で連絡をお願いいたします。)

また、入力後、すぐに対応することは困難な場合もあります(できれば下校時刻の1時間前までに入力)ので、早退や下校まで時間がない等、お急ぎの場合は、お電話で直接ご連絡をお願いいたします。

<8時まで>欠席、遅刻、早退、下校方法の変更等 → LEBER(※基本的にこちらへ入力願います)

<8時以降>欠席、遅刻、早退、下校方法の変更等 → 緊急連絡フォーム(Microsoft Forms)

※アプリを利用した連絡だけでなく、電話での連絡はいつでも可能です。